

事業継続計画 (BCP) 対策のご提案

Business Continuity Plan

日本の企業を支えます。



日本の企業を支えます。

免震システム

免震システム



株式会社 **モリタ**
<http://www.morita-co.co.jp>

特機エンジニアリング部

☎ 451-0064 名古屋市西区名西2丁目27-13
☎ <052> 508-8930 FAX <052> 508-8931

名古屋	☎466-0013	名古屋市中区上前津1丁目2-29	☎<052> 322-5511	FAX <052> 321-0676
豊田	☎471-0065	愛知県豊田市平芝町7丁目24-7	☎<0565> 31-1166	FAX <0565> 34-1102
小牧	☎483-8044	愛知県江南市宮後町砂場東9番	☎<0587> 59-6000	FAX <0587> 59-7749
刈谷	☎448-0003	愛知県刈谷市一ツ木町4丁目39-5	☎<0566> 61-2711	FAX <0566> 61-2712
北九州	☎806-0045	北九州市八幡西区竹末1丁目17-3	☎<093> 645-1111	FAX <093> 645-2266
仙台	☎981-3117	仙台市泉区市名坂字石止6-103	☎<022> 772-5665	FAX <022> 772-5668

上海森田皆喜精密机械有限公司

215021 江蘇省蘇州市工業園區蘇州大道西8号中銀惠龍大廈1棟1614室
TEL +86 512-6265-1590 FAX +86 512-6265-1597
E-mail : shanghai@morita-co.co.jp

天津森田國際貿易有限公司

300202 天津市河西区解放南路富裕中心1-2209
TEL +86 22-2331-2808 FAX +86 22-2331-2908
E-mail : nihao@morita-co.co.jp



MORITA CORPORATION



事業継続計画(BCP)対策のご提案

Business Continuity Plan

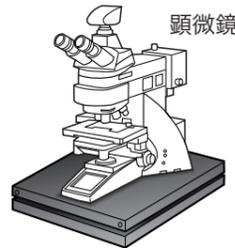
日本の企業を支えます。

地震災害時、重要な施設や機器の破損、サーバー停止など、事業継続に関わる重大な被害が発生する前の予防策として「免震システム」の導入をご提案いたします。

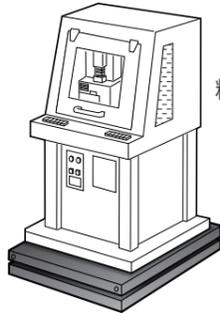
ご推奨事例 (価格は概算です)

推奨タイプⅠ 約20万円～

免震テーブル



顕微鏡



精密測定器

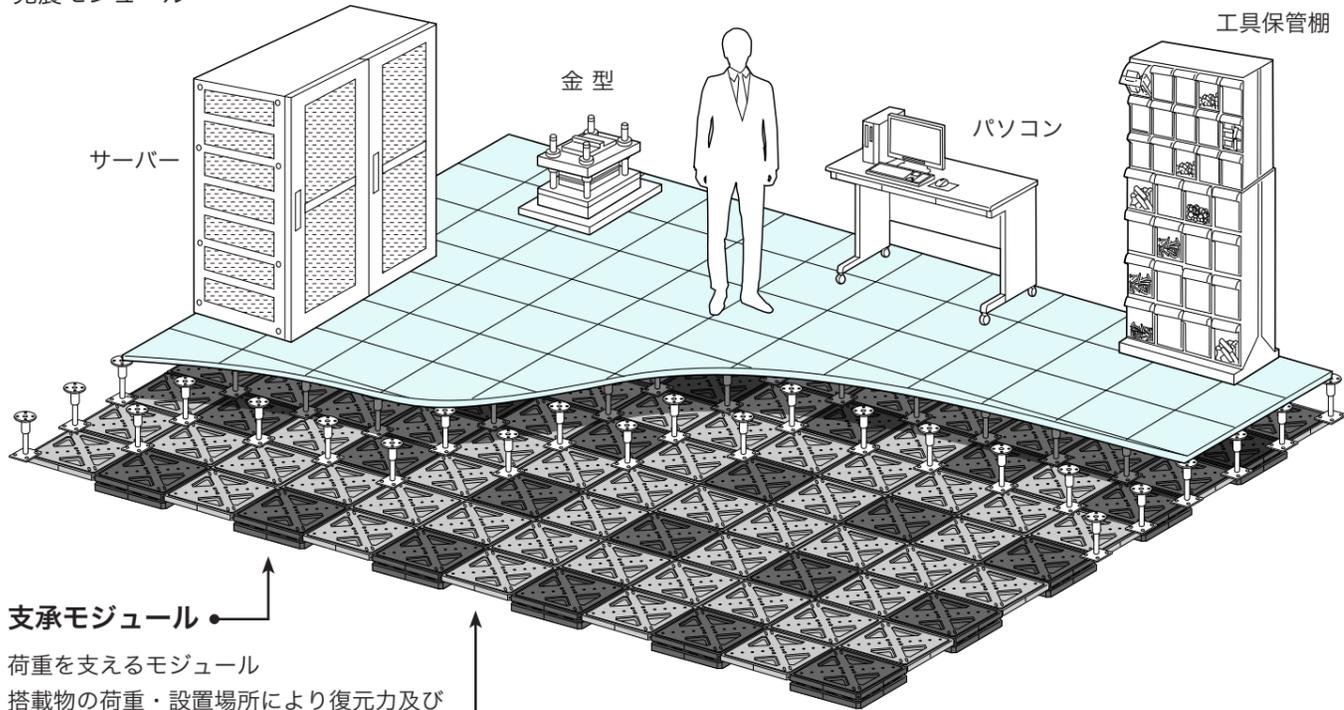


免震テーブルの設置は床に置くだけで、特別な工事は不要です。また、容易に連結できるので大がかりな工事をしなくても免震の効果を実現できます。

免震テーブルタイプなら、精密測定機器やサーバーなどの大きさや数にあわせて柔軟な対応ができます。

推奨タイプⅡ 約100万円～

免震モジュール



支承モジュール

荷重を支えるモジュール
搭載物の荷重・設置場所により復元力及び減衰力を調整。

1モジュールあたりの最大荷重は750kgf。

連結用モジュール

支承モジュール間を連結するモジュール。

※推奨システムは右側【免震システムご提案内容】をご覧ください。

安全面を考慮した設計・設置 (オリジナル)



免震システムご提案内容

推奨タイプⅠ

① 工具保管用などの棚類

オフィス・作業現場に置かれた棚の下に設置することで、中身の散乱を最小限に抑えます。

② 精密測定機器

三次元測定機や電子顕微鏡など、検査室にはデリケートな高額商品が並んでいます。さまざまな測定機の転倒を防ぎます。

③ 危険物保管庫

化学薬品などの危険物を保管している保管庫に設置することで、二次災害を防止し作業員を危険から守ります。

④ サーバー

PCサーバーは人間でいう脳です。サーバーが破損すると情報は失われます。多大な打撃を受ける前に免震システムの導入をお勧めします。

⑤ 医療機器

命を預かる医療の現場では、いかなる状況であろうと停止することができない機器が数多くあります。地震による医療機器の破損・停止への対策として免震システムの導入を推奨します。

推奨タイプⅡ

① 金型 (推奨タイプⅠではご提供できませんのでご注意ください。)

プレス用の金型は積み上げた状態で保管しており、地震により落下する危険性があります。万が一に落下した場合、命にかかります。また高額品のため、落下によって破損したときの被害は甚大です。免震システムを導入することで金型の落下を防止します。

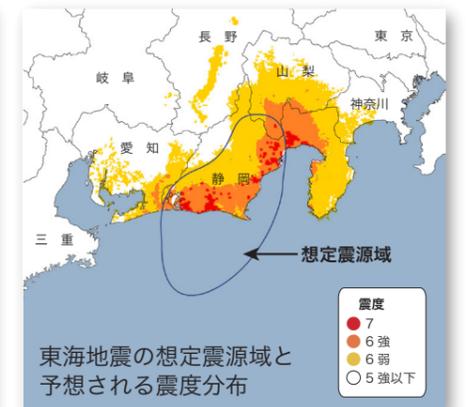
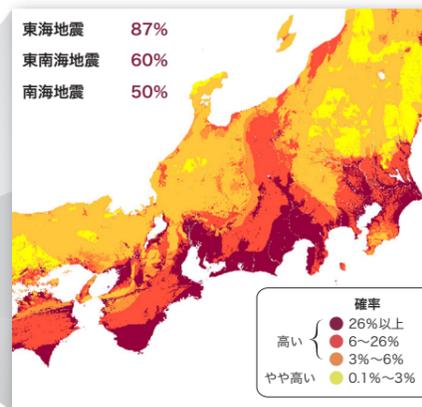
② フロア全体

単独の免震対策と異なり段差が発生しないため、普段は免震未対策のフロアと同じ感覚で利用できます。そして地震発生時には、高い免震性能を発揮します。

その他、各種設備に対応します。ご相談下さい。

いつ、どこで地震が起きてもおかしくない状況です！

今後30年以内に震度6弱以上の揺れが予測される観測地域は全国に幅広くわたっています。中でも、東海地震は87%、首都圏直下型地震は70%という高い発生確率が予測されています。



※ 防災科学技術研究所、地震ハザードステーション (J-SHIS) の資料をもとに作成。 <http://www.j-shis.bosai.go.jp/>